

平成 25 年 10 月 3 日

松山河川国道事務所調査第一課

かいほつかすみ
「第 3 回開発霞ワークショップ開催」

～重信川開発霞の自然再生に向けた整備内容策定に向けた協議を実施～

東温市上村の重信川開発霞（かすみの森公園）において、自然環境復元に向けた計画づくりを議論する第 3 回目のワークショップを開催します。

◆日時

平成 25 年 10 月 9 日（水） 15：00～17：00

◆場所

東温市役所 4 F 403 会議室

（東温市見奈良 530-1）TEL：089-964-2001

◆開発霞ワークショップ

「開発霞ワークショップ」は、学識者 4 名、公募メンバー 15 名、オブザーバー（行政等）4 名の合計 23 名で構成されています。今回は、第 2 回会合で 3 つのテーマ（「①水の確保」、「②既存施設の有効活用」、「③地域での活用を考えた整備」）で議論した結果を踏まえて、具体的な整備内容を決定するための議論を行います。また、保全・再生対象生物について検討を行う予定です。予定している議事内容は以下のとおりです。

- 第 2 回ワークショップの振り返り
- 整備内容の検討
 - ①水の確保の方策
 - ②既存施設の有効活用
 - ③地域での活用を考えた整備
- 保全対象生物選定に向けた検討

◆備考

- ・傍聴、撮影は自由ですが、進行中に発言はできません。進行の妨げになると事務局が判断した場合は、退場していただく場合があります。
- ・質問等については、ワークショップ終了後事務局が対応します。

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

◎ 調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎：主な問い合わせ先

第2回 開発霞ワークショップの概要

日時・場所

平成25年9月2日（月）10:00~12:00

東温市役所403会議室

第1回ワークショップの検討結果および今回の検討課題

ファシリテーターの二神先生より、第1回ワークショップの検討結果および、これにもとづく今回の検討課題について説明がありました。

- 3つの課題（①水の確保、②既存施設の有効活用、③地域での活用を考えた整備）を解決するための方策
- 保全対象生物（指標種）の抽出と、保全に向けた必要な方策



意見交換

今回のワークショップ参加メンバー16名が4班に分かれ、検討課題について意見交換を行いました。抽出した意見を付箋紙に記入し、各班ごとに意見集約を行いました。



意見発表および総括

各班で集約した意見について、代表者による発表が行われました。最後に、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

◇水の確保について

- 水量をどの程度確保するかによって整備の方針が決まってくるだろう。
- 色々な案があったが、今のところ取水井戸のグループが多かった。
- 今回出た、佐古ダムの水利用、掘込み+ポンプ案については、要検討。

◇既存施設の有効活用について

- エリア毎にメリハリをつけた整備が良い。
- 子供や車椅子に優しい整備を行ってほしい。
- 維持管理の問題も出てきた。

◇保全対象生物について

- 色々な生物（植物・動物）が育っていくような環境が出来たらということで、次回も継続して議論を行っていく。

